

<教科等横断型授業>		理科（生物基礎）×保健体育（保健）		学習指導案		
日時	令和4年 6月14日（火）第5時限		教室	生物第2実験室		
講座	2C講座／生物選択	授業担当者	若山勇太（理科）		相原伸康・中山玲（保健体育）	
本時の主題	ヒトの性周期					
使用教科書	理科（生物基礎）	改訂 生物基礎（東京書籍）				
	保健体育（保健）	改定版 現代高等保健体育（大修館書店）				
学習単元	理科（生物基礎）	3編 生物の体内環境の維持				
	保健体育（保健）	2章 生涯を通じる健康				
実社会での課題	昨今の新型コロナウイルス感染症拡大による生活環境の変化が、女性の体にも影響を及ぼしている。東京の民間企業が行った調査で、回答したおよそ5000人のうち生理痛や生理前の心や体の不調といった症状が感染拡大前より悪化したと答えた女性が30%に上っている。ヒトの性周期について内分泌系の観点から科学的に理解しておくことで、心と体のバランスを調節することに役立つ。				関連項目	
					Science	○
					Technology	
					Engineering	
					Liberal Arts	○
					Mathematics	
SDG	3					
生徒に身に付けさせたい資質・能力	ヒトの性周期は間脳視床下部、脳下垂体、生殖腺によって制御されていることを生理学的に理解させ、思春期における心と体のバランスを上手にコントロールしたりお互いに配慮したりする力を身に付けさせる。					
指 導 過 程	導 入	学習活動		時間	指導上の留意事項	資料等
		1 本時の学習の社会的な背景について理解する。	10	・新聞記事を引用して東京の民間企業が行った調査を紹介する。	・ロイロノート ・一人一台端末	
	2 本時の目標を把握する。					
	展 開	1 保健で学習した内容を復習する。 (1) 性周期 (2) 基礎体温	10	・基礎体温に二相性があることに興味・関心を持たせる。	・教科書（保健） p.64-65 ・教科書（生物基礎） p.127 ・ロイロノート ・一人一台端末	
		2 自律神経系および内分泌系による性周期の調節について学習する。 (1) フィードバック調節 (2) 看護師国家試験過去問	15	・フィードバック調節によって間脳視床下部で性周期が調節されていることに気付かせる。	○ヒトの性周期の調節について理解できている。 <知識・理解>	
3 思春期における心と体のコントロールについて考える。	10	・男女別の班で、女性・男性それぞれの立場からどのようなコントロールや配慮が必要かについて考えさせる。	○学習内容を深める話し合いができている。 <思考力・表現力>			
整 理	1 本時のまとめをする。 2 課題を提出する。	5	・ロイロノートの提出箱に課題を提出させる。	・ロイロノート ・一人一台端末		
備考	2年普通科 理型 生物選択生 19名（男子 8名 女子11名）					